

農地流動化情報 vol.11

農業委員会では、農地の有効利用促進を図るため、売買・貸借等を希望する農地の情報を提供しています。

■ 売りたい

農家の所在地	地目	面積(a)
平上山口字田中(1筆)	田	21
平北神谷字砂田(4筆)	畑	29
大久町大久字陣場(10筆)	畑	469

ご覧になって、この農地を『買いたい』あるいは、その他手続き等の詳細を知りたいという方は農業委員会事務局までお問い合わせください。

※また、今回掲載した農地以外にも売買・貸借等の意向がある方は、是非ご相談ください。

お問い合わせ：農業委員会事務局
☎22-7578



農業委員(選任委員)が 変わりました



須藤 甚次郎 委員

- 選任委員(新)
- 農業共済組合推薦
- 農政振興部会
- 四倉町

6月にいわき市農業共済組合からの推薦を受け、新たに農業委員として選任されました。今後は、農業振興、農地の権利移動の適正化等に全力で取り組んで参ります。よろしくお願ひいたします。

今号の表紙から

『都会に住む子ども達が夏休みを利用して田舎暮らしをする。』これは、祖母や親戚が地方に住んでいるなら、比較的簡単にできるでしょう。しかし、都会生まれの都会育ちの家族には、ちよつと難しいかもしれません。

いわき市では、農山漁村の資源や既存施設を活用し、都市部の小中学生を対象とした、自然体験活動を推進しています。8月20日(金)〜22日(日)までの3日間、川前町のいわきの里鬼ヶ城で開催された「いわきふるさと体験プロジェクト事業」もその一つです。

今年で2年目の開催となるこの事業は、都市と農山漁村との交流を図るとともに、農林水産業の振興や地域活性化に寄与することを目指して、いわきの里川前ふるさと体験交流委員会が主体となつています。



今年、東京都港区内の小学校11校から、小学5・6年生30名が参加しました。1日目はジマス釣りに歓声を上げ、合間には竹馬やお手玉で楽しそうに遊ぶ姿が見られました。2日目にはそば打ち体験、そしてナスやカボチャ、スイカやトマトなどの夏野菜の収穫体験を行いました。

「家でもしてるよ。」とちよつと驚きの声。改めて家庭菜園の普及に感心しました。「でもカボチャやスイカの収穫は初めて。カボチャってこんなに重いなだね。」と、家庭菜園ではなかなかできない作物に興味を示す声も上がりました。楽しくてつい取りすぎてしまう子、一番大きなナスを探して友達と競争する子、割れたスイカにかぶりつく子など、畑には和気あいあいとした光景が広がっていました。

(執筆 草野 城太郎委員)

農業委員会のおはなし

●新潟市秋葉区農業委員会視察研修受け入れ
去る7月22日(木)、

新潟市秋葉区農業委員会委員15名の、農業委員視察研修の受け入れを行った。約1時間半にわたり、本市における遊休農地解消対策及び、農業委員会だよりの広報活動について説明を受け、意見交換等を行った。



●平成22年度東北・北海道農業フォーラム開催
去る8月26日(木)、

札幌コンベンションセンターにおいて、農業フォーラムが開催され、本市農業委員会からは安島忠会長職務代理者が出席した。『新たな農地制度に対応した農業委員会活動の実践』をテーマにパネルディスカッションを行い、農業委員会の重要な役割を再認識した。

